第十七号様式（第十条関係）

上峰町提出用

令和　　年度（令和　年分）給与支払報告書（総括表）

上峰町長様

指定番号

令和　年　月　日提出

給与の支払期間	令和　年　月分から　月分まで		
給与支払者の個人番号又は法人番号		（右詰め記載）	
フリガナ		事業種目	
給与支払者の氏名又は名称		受給者総人員	人
所得税の源泉徴収をしている事務所又は事業の名称		報告人員 特別徴収対象者	人
フリガナ		報告人員 普通徴収対象者（退職者）	人
同上の所在地	〒	報告人員 普通徴収対象者（退職者を除く）	人
		報告人員 報告人員の合計	人
給与支払者が法人である場合の代表者の氏名		所轄税務署名	税務署
連絡者の氏名、所属課、係名及び電話番号	課　係 氏名 （電話　）	給与の支払方法及びその期日	
関与税理士等の氏名及び電話番号	氏名 （電話　）	納入書の送付	必要・不要

※この総括表は先頭につけて下さい。

！　特に大事な箇所です。提出前に必ず確認してください。

●総括表

- ✔ 名称・所在地・担当者連絡先を記入しているか
- ✔「報告人員」欄に記載の特別徴収・普通徴収の人数内訳と、仕切紙前後の個人別明細書枚数がそれぞれ一致しているか

●個人別明細書

- ✔ 住所・氏名・生年月日・個人番号は記入しているか
- ✔「所得控除の額の合計額」と各所得控除の額の合計が一致しているか
- ✔ 生命保険料の控除額がある場合、各保険料の支払額を記入しているか
- ✔ 前職分を含めて年末調整した場合、摘要欄に前職分の給与支払者の氏名（名称）、住所、退職年月日、給与支払額、社会保険料額、源泉徴収税額を記入しているか
- ✔ **普通徴収の場合、切替理由書兼仕切紙に対象人数を記入しているか。また個人別明細書の摘要欄に普通徴収である旨又は符号の記入があるか。**

● 既に提出した「個人別明細書」を訂正する場合は、個人別明細書の摘要欄及び総括表に訂正分と朱書きのうえ、**訂正該当の方のみ**提出してください。また、同摘要欄に**訂正内容を簡潔**に記入してください。

上峰町提出用

個人住民税を普通徴収とする理由書（切替理由書兼仕切紙）

上峰町長様

事業所（主）名　　指定番号

普通徴収として取り扱う給与受給者の切替理由ごとの人数は次のとおりです。

この列には、　上峰町長　に提出する人数のみを記入してください。　↓

符号	理由	人数
A	退職者又は退職予定者（5月末まで）	人
B	給与の支払いがない月がある者	人
C	毎月の給与が少額のため、特別徴収税額を引ききることができない者 （例：前年中の給与支払金額93万円以下の者、休職者）	人
D	他の事業主から特別徴収されている者（乙欄該当者）	人
E	事業専従者（事業主が個人の場合のみ該当）	人
F	給与受給者総数が2人以下 ※全従業員数からA～Eの該当者を除く人数	人
普通徴収該当者　合計人数		人

●この「切替理由書兼仕切紙」を提出される場合は、個人住民税を給与から特別徴収できない方（A～F）の分の給与支払報告書（個人別明細書）の先頭に綴ってください。

普通徴収の場合、この切替理由書の提出が必要です。個人別明細書の摘要欄には、必ず普通徴収である旨又は符号（A～F）を記入してください。